

白岡ニュータウン自治会だより

8月盛夏号

平成13年8月5日
白岡ニュータウン自治会発行
会長 岡田光旦



挨拶と花と緑の
明るいニュータウン

『花と緑豊かな美しいニュータウン』に思う

自治会副会長 大西 康治

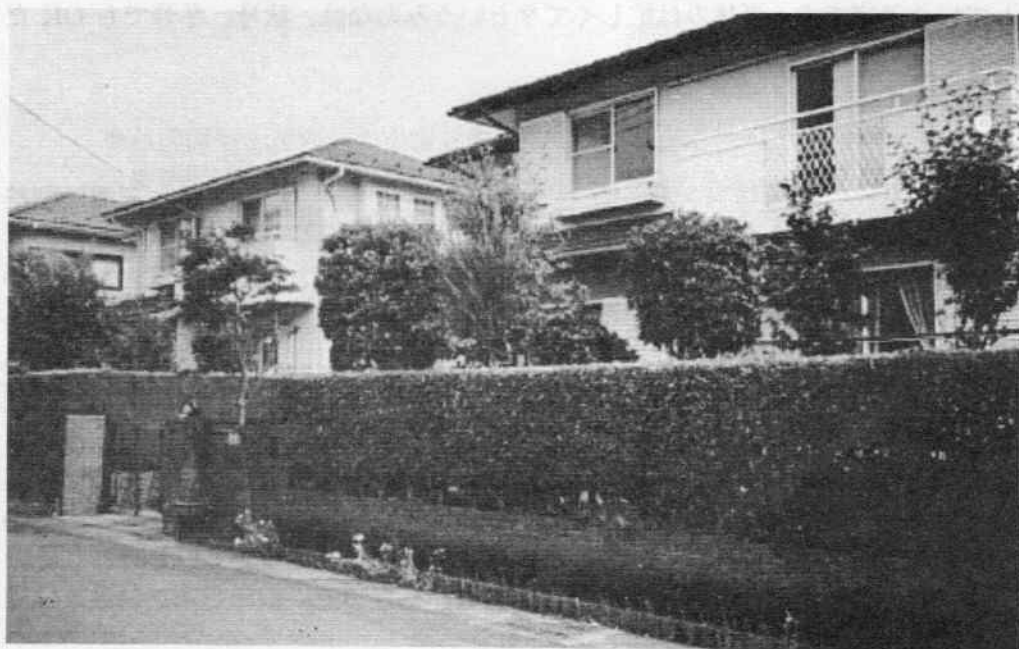
花と緑のニュータウンもいつしか15年、「埼玉の田園調布」と評され、緑豊かな住みよい環境と美しい街、これが私たちのニュータウンです。

タウンのメインストリートを歩くと二段植栽による生垣に囲まれた住宅が整然と並び、街路樹のケヤキ並木も、真夏には強い日差しをさえぎり、ほどよい日陰を作ってくれる。また秋には、この辺では珍しく紅葉の並木を楽しませてくれます。また一步街の中に踏み入ると、それぞれ丹精こめられた二段植栽の生垣、レンガの門扉には四季折々の花を咲かせた鉢を並べ、生垣の上から枝を出す桃色の百日紅の花、真っ赤に紅葉するモミジなど、そしてまたバランスのとれた家並がとても美しく、緑道や公園の樹木も住民の心を癒してくれる。こんな緑豊かな快適な街を子や孫の代までも維持するにはやはり住民相互間の理解が不可欠です。

当初は、総合地所のお仕着せで緑豊かな環境づくりが成されて参りましたが、年を重ねるにつれ、住民の高齢化も進み、わが街の環境意識も多様化して参りました。

勿論、通りの樹木や公園の木々、植栽の生垣などもそれぞれ円熟の度を増し、最近では、あちらこちらで生垣などの、ほころびが目につくようになってきました。特に隣接する境界の生垣については場所によっては木の育ちが悪く大きなほころびができ、風致、美化、プライバシーの保護と言う本来の目的が崩れ、ややもすれば近隣住民との気まずい関係がおきかねません。また、住民の高齢化にともない建物及び周辺のバリアフリー化も進むようになるでしょう。日ごろからニュータウンの住人である意識を忘れず、互いによく話し合い、理解し合って、生垣の取替えや、修復、若木と植え替える等、良好な関係を保持し、緑豊かなバランスの取れた、この美しい景観を損ねる事のないようにしなければならぬと思います。

最近の資産デフレ下においても、このニュータウンの価値は、思いのほか下がっていないと聞いています。これは会員皆が、花木を愛し緑を育て住みよい環境、美しい景観を守っているからではないでしょうか。これからも“花と緑豊かな美しいニュータウン”をいつまでも維持できるように願う気持ちは皆同じだとも思います。この気持ちを大切に、子や孫へ伝えていきたいものです。



※なお自治会だより9月お月見号から『花と緑豊かな美しいニュータウン』と題して“コラム”として連載させて頂きます。

(自治会広報部)

《子供部会コーナー》

『地域の人達と楽しく触れ合って！！』

荷物を運ぶ台車に太鼓を載せた山車と町から借りた御神輿で、炎天下のニュータウンの中を子供たちもかなりバテバテで、「ワッショイ！ワッショイ！」とやってやっとたどり着いた中央公園。それでもスイカ割りとなると一転、歓声に沸き、美味しそうにスイカを頬張る姿を思い出すと、今年は諸般の事情で中止となりましたが、楽しみにしていた子供たちに申し訳なく、子供部会として何とか夏の楽しい思い出づくりの手伝いが出来ないものかと悩んでいます。

このところ、池田小学校の事件を始めとして子供たちに関わる悲惨な事件が多発しており、心を痛めていることと思います。

子供たちが何か困っていきそうな時に「どうしたの？」と言葉をかけてあげられる。子供たちもニュータウンの中なら何処へ行っても、顔見知りのおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんがいる。そんな豊かな触れ合いのある町になったらと思っています。盆踊りをはじめとする自治会の催しには多くの方々に、お子さん共々楽しんで参加して頂きたいと思っています。

自治会子供部会理事 桃井身代子

『夏休みの思い出』原稿募集

“夏休みの思い出”に関する作文・詩・俳句を募集致します。

① 原稿締め切り：8月31日（金）

② 提出先：2丁目集会所ポスト…自治会子供部会・広報部宛

③自治会だより：“9月お月見号”（9月16日発行予定）に掲載致します。

原稿には題（作文・詩）・学年・氏名を記入して下さい。

※ 多数の作品をお待ち致します。子供部会コーナーが定着し会員のお子さんからの多くの原稿が集る事を期待し、ニュータウンのお子さんたちの“触れ合い広場”になればと望んでいます。（広報部）

尚、広報部より上記原稿募集に先立ち子供部会理事にお願いして何人かの方に作品（原稿）をいただきました。今後各号で作品を募集していく予定です。夏休みは忙しくて？というみんなは、秋号、冬号でもOKだよ。

『楽しかった久喜祭り』

5年生 三浦江梨花

七月十八日、わたしと、お母さんと村井さんの親子といっしょに、やっと楽しみにしていた久喜祭りの日がやってきた。さいしょは、モーニング娘のポスターのくじをやった。そうしたら、わたしの好きなごとうまきが当たった。つぎには、スマイリーのくじをやった。そうしたらスマイリーのハリセンが当たった。ひさしぶりにじゃがバターを食べた。ひさしぶりだったからすごくおいしかった。わたしは、いつもより運がいいなあと思った。今度は、ちがうところのスマイリーのくじをやった。そうしたら、スマイリーのちょ金箱が当たった。すごくうれしかった。つぎに、すごく大きいカルビのやきとりをかった。お母さんとわたしと村井さんの親子で大きかったからわけて食べた。カルビがすごくかたかったけど肉じるがでて、すごくおいしかった。それから、からあげをかった。それもおいしかった。それからいろんなタレントのポスターのところではわたしがいちばん好きなキンキキッズのシールが当たった。ちょうちんがいっぱいついてるだしが私の目の前をすごいスピードで通りすぎた。ちょっとこわかったけど、おもしろかった。来年もまたいきたいです。

「バトロール、ありがとう」

5年生 船尾友希乃

私が通っている白岡東小では、私たちを見守ってくれている人がたくさんいる。マイクをもって業間休みと、昼休みにバトロールしている。すれちがったときは、あいさつしています。笑顔であいさつしてくれます。やっぱり笑顔であいさつしてくれると、こっちも笑顔になってしまいます。

時々、一年生くらいの子たちが、マイクをいたずらしていました。地域の人たちが「やめて、やめて」といやがっていたけど、おこらなかつた。やさしい人たちがなあと思いました。

校長先生・教頭先生も門のところで外を見ている。地域の人の手伝いをしているのかなー。私たちを守ってくれる人たちがたくさんいる。とても安心して学校にいける。白岡東小のためにありがとう。ごころさまです！

「夏休みに楽しみにしている事」

5年生 澤村大輝

ほくは、夏休みに楽しみにしている事がいっぱいあります。まず最初に林間学校に行きます。林間学校では、猿を見学したり、ハイキングしたり、夜にはキャンプファイヤーをしたりするので楽しみです。次に大阪のおばあちゃんの家に行っておじいちゃんといとこといっしょに「ユニバーサルスタジオジャパン」に行くのが楽しみです。次に剣道の合宿に行きます。朝練をしたあと遊んだりハイキングしたりするのが楽しみです。来年はキャンプに行きたいです。

「社会科見学」

6年生 平野正明

ほくは7月17日に、久喜のプラネタリウムに電車で行きました。電車にのり、久喜駅に着きました。20分か30分くらいあるきました。とてもあつくて、つがれました。プラネタリウムに着いて、お茶を飲み、中に入って、いよいよ上映です。とても星(?)がきれいでした。南斗六星、アンタレス、アルタイル、ベガ、テネブ、白鳥座、わし座、こし座、さそり座、などいろいろなことが勉強できました。とてもたのしかったです。

「ひまわり」 5年生 福永 啓

ひまわりは、大きな黄色いはなまる。
いつもかがやく顔を見せて
大きな顔でわらっている。

「林間学校」 6年生 桃井駿介

トッキトキ 林間学校 きもだめし
みんなでキャーキャー おびえてる?
ベッコベコ いいにおいがした
おなががグーグーグー
みんなで作った 特製カレー

「俳句コーナー」

あつい夏、犬もべ口だし、夕すずみ

夏休み、カブト虫たち、すもうとる

4年生 竹中耀子

4年生 小川翔太郎

夏休み、たのしいことが、いっぱいだ

夏がきて、せみも楽しく、一週間

2年生 竹中じゅんいち

6年生 古川富美子



「あさがお さいたよ」 4年生 田村美奈子



「夏休みとキャンプ」 4年生 古畑まり子

『中川文庫』から

中川 恵都子



玄関に本棚を置き小さな文庫を開いて2年余り。その間、大勢の方々にご利用いただき感謝しております。

文庫には、地域の方々を始め、他市の方々からも沢山のご本をご寄贈いただき、また、県立久喜図書館からの譲与図書も加わって、玄関の本棚だけでは間に合わなくなり、部屋の方へも本を並べて、ご利用いただいております。

私自身の子育て時代が終わって、大分時間が経ち現在の子供さん達の様子は詳しくは分かりませんが、文庫を利用なさる子供さん達と接してみて、時代は変わっても子供達の素直さや読書欲は昔と変わっていない、と感じています。ただ、今の子供達は、塾通いやお稽古ごともある、ますます忙しくなり、読書の時間がなかなか取れない様子です。そんな中でも、文庫に本を借りに来る子供さん達は、上手に読書時間を見つけ、楽しんで本を読んでいます。中には、自分達で交換ノートを作って、私とやりとりをしている4人組みのグループもあります。また、返す時、「この本、涙が出るほど感動したよ。」と言う子供さんもいて、いつも、私の方が子供さん達から喜びやエネルギーを沢山いただき、本当にありがたく思っております。

《ある日の交換ノートより》

☆A子ちゃん「わたしは、『かいぞくポケット』シリーズものが好きですが、『いたずらまじょ子』シリーズも好きです。(中略)

わたしはいろんな本をかりて、本のものしりみたいになれたらおもしろいですね。(中略)

わたしは、本を読むのが前はきらいでしたけれど、中川さんの家の本を読んでから、とても本を読むのが好きになりました。」

☆B子ちゃん「いつでも、本をかしてくれてありがとうございます。かりた本で一番楽しいのは『かいぞくポケット』シリーズです。せん週はかえせなくてごめんなさい。なんで本をかえせなかったかとゆうと、サッカーを見にいったからです。」

☆C子ちゃん「わたしは今まで本にぜんぜんきょうみがなかったけど、おねえちゃんにすすめられて、中川さんの家の本をかりてから本を読むのが大好きになりました。(中略)

これからも楽しい本をたくさんかしてください。たのしみにしています。」

☆D子ちゃん「こんにちは。『ごんぎつねコンチ』のお話は、おもしろいですね。わたしは本をよむのがとても好きです。このきもち(わたしは本が好き)が中川さんにつたわったらうれしいなと思いました。」

★尚、文庫は9月6日(木)まで夏休みとさせていただきます。学校が長期間お休みの時には、町の大きな図書館へ行かれるのも楽しいかと思ひます。

★中川文庫の住所は：新白岡 2-24-18 電話は：92-9156

『おばあちゃんの手芸教室』のお知らせ

新白岡悠友会・福祉部

白岡東小学校の皆さん、お元気ですか。新白岡悠友会では、高岩第1・第2老人クラブのおばあちゃんと合同で手芸教室を開きますからふるって参加して下さい。簡単できれいな作品を涼しいお部屋で作って夏の思い出にいたしましょう。

【日時】 8月24日(金) 9時30分～11時30分

【場所】 新白岡3丁目集会所

【作る物】 “ミニティッシュボックス”と“ようじ立て”

【参加費】 200円

【対象者】 1年生～6年生

【用意するもの】 はさみ・えんぴつ(材料は白岡町老人クラブ連合会で用意します)

【申し込み先】 白岡社会福祉協議会まで電話で申し込み下さい。

電話：92-1746

※20名で締め切ります。

以上

《悠友会コーナー》

『白岡高校との合同美化清掃』

新白岡悠友会・環境美化部

白岡高校と悠友会合同の美化清掃活動が梅雨明けも間近かな7月11日の暑い中、例年のごとく行われました。悠友会会員27名参加。学校集合12時半、1時前に作業開始。3コースに分かれて高校生と一緒に空缶、タバコのすいがらなどのゴミを拾って歩きました。生徒達は明るく素直で、犯罪に走ったり、マナーが目にあまる様な子供は同世代の中のほんの一部だという安堵感をもつことが出来ました。悠友会の参加者は高齢者が



が多いので途中体調を崩す人も出るのではないかと心配しましたが、全員無事に作業が終わりほっとした次第です。暑い最中の作業でしたが、終わってみれば清々しい満足感を得ることが出来ました。参加の皆様、お疲れさまでした。来年もまた全員が元気で参加していただけることを楽しみにしています。

(吉原記)

『芳玉会社中の皆さんによる日本舞踊鑑賞会』を終えて

新白岡悠友会・文化部

さながら人形のケースから抜け出てきたような艶やかな日本舞踊を見せて頂きました。7月15日(日)、猛暑の日が続いている中で、この日も気温35℃以上、時間は午後2時から4時すぎまで高岩天満宮の参集所で行われました。暑さにも負けず観客は60名、白岡町老人クラブ連合会会長の黒田藤吉様・高岩第一老人クラブ会長金子新一様・高岩第二老人クラブ会長黒須浜吉様にもご列席頂き盛大に催されました。



河藤流芳玉会の踊りは1部と2部に分かれてそれぞれ7曲を披露され暑さを忘れさせるほど観客を魅了させて下さいました。又1部と2部の間には新白岡悠友会詩吟クラブ・カラオケクラブ有志による日頃の成果発表も加わり一層の色どりを添えることが出来ました。

芳玉会会主河藤芳玉先生は例年ニュータウン自治会盆踊り指導もされており、お馴染みの方も多いのではないでしょうか。また白岡町社会福祉協議会白岡東支部主催の高齢者会食会にはボランティアとして数人のお弟子さんと出演して下さいました。この地域にとっては縁の深い先生です。



今年は記録的な猛暑が続き、支度部屋に当たった参集所の和室はクーラーが無く、扇風機の鈍い音ばかりが辺りを散らし2時間に及ぶ化粧・着付けは大変だったと思われました。踊りを終えた方に「暑くて大変でしたでしょう」と声を掛けると、「皆さんの盛大な拍手を頂いて暑さなど感じませんでした」とお弟子さん達の声が返って来ました。『心頭を滅却すれば火もまた涼し』のことわざが頭をよぎり感動した次第です。14曲を踊られた艶やかな姿は皆様を完全に陶醉の境地まで誘ったのではないのでしょうか。そして物事に真剣にとりくむ姿勢というものを教えられた日本舞踊鑑賞会でした。

(高瀬記)

【一十一回大会】

2001年 白岡ニュータウン

納涼盆踊り大会

プログラム

主催:白岡ニュータウン自治会

日時:8月25日(土)午後6時30分～9時30分

(雨天の場合は翌日8月26日(日)同時間に振り替え)

場所:白岡東小学校 校庭

盆踊り:白岡音頭、白岡ソレソレ節他

アトラクション:太鼓「ヤング大和太鼓」/バンド演奏「サテンドール」

お楽しみ福引き大会:

賞品 1等賞 14インチビデオ付テレビ(2台)

2等賞 パーソナル冷蔵庫45L(3台)

3等賞 自転車26インチ(シティサイクル2台、軽快車2台)

他豪華賞品多数

☆福引き券の受付は午後7時30分で締め切ります

☆大型当選賞品は、当日は目録のお渡しとし後日事務局で引き換えます

【お渡し締め切り日9月1日(土)】

会場案内



ゲーム……………1回100円

- 金魚すくい
- ヨーヨーつり
- スーパーボールすくい
- ボール投げゲーム

食べ物&飲み物

- かき氷(1杯)…100円
- ジュース(1本)…100円
- ビール(1本)…200円
- フランクフルト(1本)…150円
- やきそば(一皿)…200円
- やきとり(3本)…200円

お願い

白岡東小学校の校庭をお借りしています。次の点にご注意の上、ご協力をお願い致します。

- ・マイカーでのご来場、ペットを連れてのご来場は、ご遠慮ください。
- ・自転車は指定の場所に、きちんと整理して止めてください。
- ・場内での花火、指定場所以外での「喫煙」はできません。
- ・ゴミは「燃えるゴミ」と「空缶」を区別し、指定の場所に入れてください。

お出かけの際のご注意

- ・最近留守宅を狙う空き巣狙いが増えています。お出かけの際には厳重な戸締まりをお願い致します。
- ・小さなお子様は必ず保護者が付き添い、混雑した会場では手をつなぐなどして、くれぐれも事故などの起こらぬようご注意下さい。

《趣味のコーナー》

『大ぼら会』(家庭菜園の会)のご紹介

新白岡1-25-3 新井 銑吉

白岡ニュータウン周辺で家庭菜園作りをしている同好の士が集って出来たのがこの会です。会の名称は「自分で作った野菜は、たとえ曲がっていても、虫くいであっても、世界一である」という主旨からつけたものです。現在会員数は13名ですが、皆さんそれぞれ家庭菜園については、一家言を持つ人達の集りです。豆トラを持ち専業農家も顔負けするほどの耕作面積を誇っている者、野菜の病虫害についての知識豊富な自称農学博士、ゴーヤ(にがうり)作りの名人を自称している者、ネギは種から手掛けないと気がすまないというネギこだわり人間、多士済済です。

この会員が年2回、近くのレストランで会合を開き、一杯飲みながら、野菜作りの自慢話や失敗談を披露しあいます。アルコールがまわるにつれて議論も白熱して行き、気がつくと予定の時間も予算もオーバーということになっています。私は野菜作りについてはまだ駆け出しで、とても先輩方の足元にも及ばないが、少しでも自慢出来るネタを仕込もうと、休日には家庭菜園に出て野菜作りに精を出しています。



ちなみに、当会への入会資格は「白岡ニュータウン周辺に家庭菜園を持ち、野菜作りに情熱を燃やしている人で、会合に出席し自分の野菜はいくら自慢してもよいが、他人のものは決してけなさないこと」です。我こそは入会資格ありと思われる方はぜひご連絡下さい。

連絡先(電話 93-6226 新井)

菜園日誌



12坪ほどの土地を借りて、家庭菜園を始めてから8年になる。毎年同じような作物を同じように作っているのだが、3月頃になると今年は何を作ろうかと楽しみに成る。

ここ5-6年は、菜園日誌のようなものを付けていて、作付計画に始まり収穫に至るまでを簡単に記録している。ナスやキュウリのような作物は毎年同じ場所に植えると病気になりやすいので、過去の記録を見て違う場所にする。昨年多く作り過ぎたものは、少し作付け面積を減らし、逆にうまく出来たのもう少し多く作りたいものもある。樺の落ち葉と米ぬか、鶏糞でつくっておいた堆肥を重点的に使う場所の目安を付ける。

記録にはその年に購入した種子や苗、肥料、資材などの値段や土地の借用代も付けている。さらに年によっては収穫した作物の量とそれらの想定市場価格も記してある。使った費用と収穫物の価格を比較してその年にペイしたかどうかを計るためである。そんな必要はないのだが「どうせ高いものについているのでしょう」という批判に対する理論武装のためである。

たった12坪の畑でもこれだけのやることがあるし、1年間に作る作物も12-13種類にのぼる収穫するナスやキュウリの数も年間でそれぞれ100個くらいになることがある。私はまだ仕事をしている典型的な日曜農家であるために収穫は土、日曜日に集中する。夏や秋口の収穫期には、家内がもらい先を尋ねて多少出来のよい作物をおいてくる。現役を引いたら少し面積を広くして、いろいろ工夫をして自分独自の作り方で自ら満足の行く作物を作りたいと思っている。

新白岡3-5-6 高 薄 克 人

☆☆☆☆ 投稿 ☆☆☆☆

六月半ば、体調の悪い娘を小学校に迎えに行くと、街でよくお目にかかるお方が校門に立っておられた。事情を話し、門を開けて貰い校舎に向かうと、今度はご婦人が立っていらっしゃった。挨拶をしながら、その数日前大阪で起きた事件の余波と察し、この冷たい雨の中、自分の親より上の方々がと思い、「お気の毒に」と感じた。

翌日、学校から《有識者の方々が交替で毎日警備に当って下さる》旨の案内が有り、「お世話になります」と思った。そして先日、その警備が「子供たちを守りたい」との自発的なもので、岡田自治会長の呼びかけで、地元有志によるもの、との記事が読売新聞に掲載されたと、お知らせがあった。

一時でも、「行政のお達しでの、決め事」と思い、増してや「まったくとんでもない奴のお蔭ですぐに校内に入れず不便だし、警備の方々も仕事が増えて大変」と感じた事が恥ずかしくなった。そしてパトロールして下さる皆様に、益々頭の下がる思いがした。

時は遡ること二月、子供部会の催しが行われた。閉会の時、役員の方が「何か困ったことがあったら、うちの、友達、先生、そして近くの大人たち誰かに必ず話さない。良いですか、一人で考えていないで話すんですよ」とおっしゃられた。残念ながら子供達は、貰った景品に気を執られ騒がしかったが、後ろで聞いていた私は不測の悲しい事故があったので、有り難いと思った。

四年前神戸で、少年による残虐事件があった。ある著名人が、容疑者の少年はニュータウンという環境がそうさせたと言いつつ放ったのだ。折りしも、この地に申し込み、旧住宅の売却待機中のわが家にとってはショックな内容で、事実、転居に不安が生じたものだった。

確かに「隣は何をする人ぞ」の気配。しかし、私とて余り濃厚な関係は不得手である。でもである。日頃素知らぬ風、いざとなると駆けつけてくれるご近所を感じ、これぞ理想、白岡ニュータウン有りと思った。『寄せ集めの地元人』しかし、学ぶことの多い人生の先輩たちの多いことに感謝。ここに越して来て良かったとしみじみ思い、我が子にとって、『良きふるさと』になると信じている。

★ 追伸：広報部の方、ゴミゼロ終了後、すぐに慰労の文面がCATVで流れ、驚きました。色々ご苦労が有るかと思いますが、皆が見ることが定着し、至急の連絡が出来たらいいですね。これ位の所帯数で正に“革命”と思う私はオーバーでしょうか。

(一住民より)

★初めての住民のお方からの寄稿でした。【七夕号】の原稿締め切りの後で、記事スペースが無く【8月盛夏号】に廻らせて頂きました。

(広報部)

点描

“平らな道”

冬の晴れた日、新白岡駅から西は富士山、東に筑波山、北は妙義の山々が見渡せる。関東平野が広くて平らなことを実感する。駅前に広がる街並は平らな道でつながっている。

朝は通勤・通学の急ぎ足、夕は帰りの少し重たい足。酔った帰り、車の迎えもない中年にはこれが坂道だったらと思うとぞっとする。でも平らで助かる。雪のつもった日も、坂道より安全だ。何よりもお年寄りに優しい。バリアフリー（障壁のない）という言葉が使われてからまだ日が浅いが車椅子だけでなく子供の自転車やベビーカーなど生活空間のなかで非常に重要なことである。しかし、平らな道だけにちょっとしたでこぼこは危険である。すぐ直してほしい。

花に彩られた空き地や道ばた、そしてきれいな街並に心がなごむ。皆で協力のゴミゼロ運動はとても清々しい。平らな道の大事さや、有り難さを思いつつそして平らかなということは穏やか、平和であるということ。良好な環境を保つためには住民一人一人が知恵と工夫を出し合って協力し行動していくことが肝要だと思う。

甲斐庸夫

《防災コーナー》



『白岡町主催の

総合防災訓練に参加を！！』

防災・防犯・交通担当理事 飯塚 牧三

多くの国民が学んだあの大きな「阪神・淡路大震災」から今年は9年目を迎え、記憶もうすらぎ忘れ去られようとしています。現地ではいまだに、その震災から立ち直れないでいる人がいます。以来、当自治会でも「阪神・淡路大震災」を教訓とした「総合防災訓練」を毎年、実施してきました。今年は、白岡町主催の「総合防災訓練」を実施することになりましたので、自治会による「総合防災訓練」は行いません。災害は忘れた頃にやってくると言われています。この機会に一人でも多くの方の参加をお願いします、防災訓練を通して学び合い、地域の活動に生かして戴きたいと思ひます。

この訓練につきましては、各役員・班長さんには全員の方に、悠友会の皆さんにも参加をお願いします。

記

1. 期 日 平成13年9月9日（日）午前8時から午前11時25分まで
2. 場 所 白岡南中学校・校庭
3. 訓練内容 （1）参加者には、消火器による消化訓練とてんぷら鍋に火がついた時の消化方法
（2）他の参加団体として、陸上自衛隊・航空自衛隊が炊き出しや救助活動を行います。

※詳細については、決まり次第、皆様にお知らせしますのでよろしくをお願いします。

以上

犬の糞は必ず飼い主が処理してねえい

《編集後記》

夏の風物詩といえば花火大会があります。夏の夜空を華やかに彩り、火の粉が作るさまざまな色や形が見る人の心を和ませてくれます。また、間近で見る仕掛け花火は格別です。滝が流れるように火の粉が落ちるナイアガラ、水の中から打ち上がる水中花火、一度に連発して打ち上げられるスターマイン、そのダイナミックさに感動させられます。どうですか今年の夏は家族と一緒にでかけて見ませんか。

花火大会情報 <http://www.tec-gates.com/festival/hanabi/tokyo.htm> （丹羽）

白岡ニュータウンが誕生して10年余。住宅の周辺の木々も大きく成長しました。緑が多いことは住宅環境としては好ましいけれど、適切な管理（剪定や枝打ちなど）は欠かせません。いまの季節に住宅地を歩いて感じるものの一つに、門柱燈の隣に植えられているさまざまな「シンボルツリー」の枝が伸びていて、「郵便受け」を覆い隠す状態になっている家が散見されます。それだけでなく鉢植え等も置かれていて、郵便や新聞配達の方々も苦勞されているのでは、と余計なことかもしれません。潤いのある住環境を築くには、お互いを思いやる生活習慣も必要なのではと考えます。

（富田）

雨の少ない「梅雨」も明け、毎日暑い日が続いて体調管理もままならない今日この頃です。せみも鳴き始め、いっそう夏らしくなりました。始めて自治会の班長になり、いろいろな役割分担があり、前任の方々のご苦勞を身にしみて感じながら、これからの自治会の仕事を、無事遂行出来る様にと考えております。まずは、自治会だより8月盛夏号のお手伝いからと思ひます。

（亀子）

白岡東小学校の警備に3回ほど参加し、子供達の元気な姿に接する事が出来ました。子供達と直に接し会話を交わし元気な笑顔を目の前で見たのは久しぶりでした。すくすくと育っている子供達の姿に感動致しました。早速、自治会だより『八月盛夏号』に子供部会コーナーを設けさせて頂き、子供部会桃井理事に原稿集めをお願いをし、沢山の原稿を集めて頂きました。原稿を書いてくれた子供さん、有難う。“子供部会コーナー”が定着してくれたらと願っています。

又匿名でしたが一住民のお方からご寄稿頂き感謝の気持ちです。少しづつですが“皆様のコーナー”の『自治会だより』に成って来ている様です。白岡東小学校校長室の額に『一生勉強・一生青春』の言葉を目に致しました。『生涯、何時だって青春』……子供達に負けない様に……この暑さを元気に乗り切りたい気持ちです。

（岡本）